

【代表取締役専務：岩村 和己ご挨拶】



平成バブル崩壊直後、東京新橋の小さな旅行会社に入社し、飛び込み営業で巡り合ったお客様、就職・転籍によって所属させて頂いた会社・スタッフ様、旅行サービス提供施設のご担当者様、全国各地の旅行業者の皆様にて育てて頂きながら、数多くの現場経験を積ませて頂いた上、このコロナ時代に至っても好きで始めた旅行のお仕事をさせて頂いていることは本当に有難いこととございます。

現在のオペレーター（手配業）のお仕事に就いてから、私が心掛けている事は『**正直なご案内**』です。Web や IT 技術の発達した現代は、莫大な量の情報が常に流れており、その情報の中からどれが自分に適しているか？その情報は新しいのか？正確なのか？という『リアル』や『本質』が問われるようになってきました。

そのような環境で『自分には何が出来るのか？』を見つめ直すと、旅行のお仕事を続けていくために、まず自分がそれを楽しむプロでなくてはならない！と就職してすぐの頃を思い出しました。

そしてコロナ禍中に自ら『**旅行家**』と名乗り、外国人のいないガラガラな日本全国を 80 カ所以上巡り、気候・風土やひとの暖か味・人間らしさというものを肌で感じ『**リアルの重要**』さを切に知ることとなりました。

このように旅行者と旅行業界の両立場でのリアルな経験により得られた情報や知識のメリットとデメリット両方を熟知し、それを旅行業者(お取引先)・旅行者(お客様)・旅行サービス提供者(契約施設様)に対し肩肘張らず、正直にお伝えすることは現代に求められていることだと思えます。

もうひとつは『**それぞれの立場を考えた手配案内**』です。旅行とは必ず自分以外の人からのサービスの提供を受け、他人様のお世話になることを絶対に避けられません。旅行を本当に楽しむためには、サービスを提供する多くの関係者の方にも楽しく進んで仕事をしてもらうことが肝要。

旅行者(お客様)とサービス提供者両方の**ニーズを的確に捉える努力**を続け、ひとつの旅としてこれらを紡ぎ、ご納得・ご満足、信頼して頂けるよう少しずつ積重ねることが私の使命だと思っています。

令和 4 (2022)年 1 月で旅行業界入りから満 30 年を迎えましたが、ポケベル・携帯電話～スマートフォン、ワープロ～パソコンとその間の変化のスピードは凄まじく、さらにコロナ禍によって従来の常識は丸つきり通用しない時代にまでなったことで、学ぶべきこと、新しいことへの挑戦は数知れずありますが、これまで業界で育てて頂いた皆さま方にはご恩返ししつつ、常にプロ意識をもってこれからも精進し、このお仕事を通じ旅の素晴らしさをご縁する方々にお伝え出来れば幸いに思います。